



学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子だより

令和6年9月13日 No.17

まだまだ暑い日が続いていますが、運動会の練習が本格的に行われています。

教室で表現の練習をしたりするなどの熱中症への対策といった制限があるものの、子どもたちは集中して、熱心に練習に取り組んでいます。

担任の先生のお話を聞きながら、しっかり取り組んで、みんなが満足できる運動会にしていきたいと思います。

自分のいのちを守る行動を取ろう！

9月3日(火)に地震と火災を想定した避難訓練を行いました。子どもたちは、地震がおこってすぐの一次避難(机の下にもぐり頭などの身を守る姿勢を取る)を素早く行うことができました。二次避難では、担任の誘導に従い、校舎内は落ち着いて歩き、昇降口を出た後は、集合場所まで駆け足で移動しました。点呼の際には、静かに待つことができました。訓練はスムーズに行うことができました。

しかしながら、いざ、地震がおこった時には、担任の先生がいなかったり、校内放送を利用した避難指示ができなかったり、避難経路に指定している廊下が通れなくなったりするなど、想定外のことが起こることが予想されます。子どもたちが主体的に考え、「自分のいのちは自分で守る」行動がとれるように日ごろから指導や訓練をしていきたいと思っています。



緊急避難場所(緊急に避難しなければならない場合に一時的に避難するところ)

その1

<出典>鈴鹿市 HP

<https://www.city.suzuka.lg.jp/kurashi/safe/1001523/1011170/1001554.html>

<広瀬町公民館>

<加佐登会館>

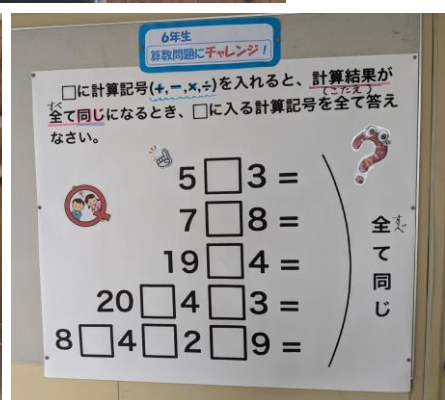
<高塚集会所>

場所を確認しておきましょう



算数を身近に感じ、チャレンジしてみよう

今、加佐登小学校の廊下や階段の掲示板には、各学年に応じた算数の問題が掲示してあります。これは、算数クイズとして、算数に関する掲示を各学年で作成し、1か月程掲示しています。教科書ではあまり出てこない算数の問題を身近なところに掲示し、友だちとワイワイ言いながら子どもたちにチャレンジしてもらうことで、ぱっと見難しいと感じてもじっくり考えることで「そうか!」と気づくことがあります。考える楽しさやわかる楽しさを感じてもらいたいと願い掲示しました。また、学力向上の取組の一環としても行っています。



<校長先生からも問題> 校長室前に計算パズルが掲示してあります。

2学期の給食が始まりました

9月4日(水)から2学期の給食が始まりました。

9月1日は『防災の日』、9月は『防災月間』です。4日は、ごはん・ヒートレスシチュー・牛乳・リンゴゼリーでした。

この日は、鈴鹿市立の幼稚園と小学校で、防災給食として非常食のレトルトカレーを食べましたが、加佐登小学校では、市内で2校だけのヒートレスシチューを食べました。

また、調理員さんたちが、災害に備えて、普段はおかずを作っている大きな釜でごはんを炊くという、炊飯訓練を行いました。



ヒートレスシチューは、非常時に温めなくてもおいしく食べられるように考えられたレトルトシチューです。シチューを一度に全部ごはんにかけて、お皿からあふれることがあるため、シチューは袋を開けて、少しずつごはんにかけておいしく食べました。

調理員さん、2学期もおいしい給食をお願いします。

お米がたくさん実りました

9月4日(水)に、5年生が稲刈り体験をさせていただきました。

田植えの時の苗は、15cmほどで、葉っぱしかありませんでしたが、収穫前の稲は、80cmほどに成長し、稲穂も実っていました。

この日は、コンバインでの刈り取り体験と鎌を使って手で一束ずつ刈る体験をさせていただきました。コンバインで、収穫（稲穂を刈り取る）、脱穀（稲穂から米になる部分（粃もみ）だけを取り出す）、選別（粃から稲の葉やわらくずなどを分ける。）の3つの作業を一つの機械で行っている様子も見ることができました。

鎌を使って刈る体験では、子どもたちは鎌を使ったことがなく、悪戦苦闘していましたが、コツをつかむとスムーズに刈り取ることができていました。また、鎌を使って刈った稲穂をコンバインを通して脱穀する様子も見せていただきました。



子どもたちが体験させていただいた作業は、今回の作業を含め田植え・除草作業・稲刈りの3回のみでしたが、もちろん、それだけではお米は育ちません。水の管理や施肥作業、数回の除草作業等、実際には日々の作業の積み重ねで稲が生長し、お米の収穫ができることをわかってほしいです。これらの作業をまちづくり協議会の皆さんにお世話をいただいたおかげで稲作の流れを知ることができ、それぞれの作業の体験ができました。収穫後、お米の単位についてや袋詰めなどの作業を教えていただく予定です。

このような貴重な体験をさせていただいた「加佐登地区まちづくり協議会青少年育成部」の皆さん、本当にありがとうございました。

